

01 開催概要

「東部地域でつながり、やってみようプロジェクト」は、2022年3月に策定された「東部振興構想」に掲げられた東部地域の将来像“人がつながり、支え合い、チャレンジし続けるまち”～豊かな自然、快適な住環境と多様な産業が共存するまちづくり～の実現をめざし、アクションプランに位置付けられた取組です。

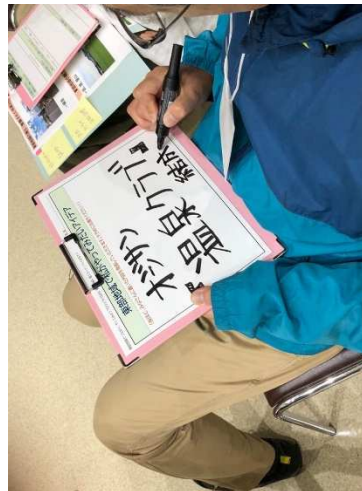
全3回のプログラムによるワークショップを、東部市民センターで開催中です。

今回は第2回の様子をお伝えします。

日時：2024年5月12日（日）
10:00～12:30

会場：東部市民センター
参加者数：8名

04 東部地域でやってみたいことをシェア



参加者一人ひとりが「東部地域で私がやってみたいアイデア」をワークシートに書き込みました。

アイデアを考えるにあたり、「私に関心を持っていること」や「東部地域で課題に感じていること」などを書き出すことで、各々のアイデアを整理しました。

参加者からは、「子どもが参加できるサバイバルイベントを開催し、まちなかではできない様々な体験をさせたい」、「市民四季の森で大きなイベントを開催したい」など様々なアイデアが出ました。



当日のプログラム

第2回 テーマ

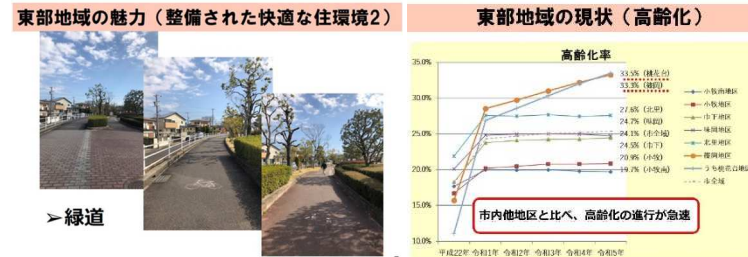
- ① 暮らしとごと
- ② プロモーションや観光

- 自己紹介、アイスブレイク
- 個人ワーク
- みんなでシェアしよう！
- クループワーク
- ふりかえり・総括

02 ガイダンス

東部地域を取り巻く現状と課題について、地図や人口データ等を用いた説明がありました。

東部地域の魅力について、豊かな自然や多様な産業など写真付きで紹介されました。人口減少や高齢化が急進していること、空き家数が増えていることなどの話もあり、テーマに沿った地域の現状を知ることができました。



03 自己紹介、アイスブレイク

ガイダンスの後は、参加者全員がくるま座になって簡単な自己紹介を行いました。今回の参加者は8人と少人数でしたが、ユーチューバーの大学生さんや、地元出身中学校でバスケットボールのコーチをつとめている大学生さん、Day1 から引き続き参加してくれる建築関係の方など特技をもった若さ溢れる参加者も多く、会場に活気が生まれました。最近楽しかったことも話し、和やかな雰囲気となりました。



05 グループワーク・参加者間交流（3ラウンド実施）

個人ワークシートの後、途中でメンバーを入れ替える‘ワールドカフェ形式’でそれぞれのワークシートの内容を発表し合い、みんなのアイデアを元に参加者間で交流しました。

ワールドカフェは合計3回行い、1・2ラウンドは多世代で交流できるように事務局があらかじめグループを設定し、意見交換をおこないました。

1・2ラウンド目の意見交換では、「地産地消のイベントを在学中の大学で開催できないか」、「ワイナリーの1DAY体験ができれば楽しそう」、「子どもたちが自然アクティビティを楽しめるような取組ができないか」など活発なアイデアが飛び交いました。

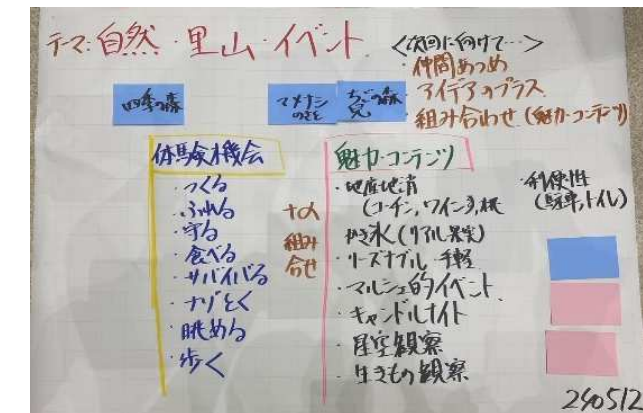


3ラウンドは、2回の意見交換の中で「この人と話してみたい」、「こんなテーマで話したい」と思った人同士でグループをつくり交流を深めました。

下記の2つの切り口がテーマとなり、5～6人に分かれて和気あいあいと議論が進みました。具現化に向けてのアイデアはもちろん、取り組んでいくにあたり出てくる課題も大まかに話し合うことができました。

【2つの切り口】

- グループ1：地産地消×プロモーション
- グループ2：自然・学び×観光



第3回ワークショップは、第1・2回のメンバーが合流し、具体的なアクションにつなげるため、取組アイデアを膨らませるプログラムを予定しています。本プロジェクトは、第3回のみ参加も大歓迎ですので、興味のある方、一緒に活動に取組んでみたい方、ぜひご参加ください。